

# 町民が自信と誇りを持ち、 生き生きと暮らすことのできる八重瀬町づくりに 全力で取り組む

八重瀬町長 比屋根方次



## 施政方針演説で基本理念を示す

平成22年八重瀬町第3回定例会が3月9日から3月26日の日程で開催され、3月9日は、比屋根町長の平成22年度施政方針表明があり、まちづくりの基本理念が示されました。

### はじめに

八重瀬町議会3月定例議会の開会にあたり、平成22年度の主な施策の概要を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと思います。

私は、先般の八重瀬町長選挙において、多くの町民から温かいご支援を頂き、2代目八重瀬町長として、向こう4年間町政を担うことになりました。改めて、その責任の重大さを痛感するとともに、町民の付託に応えられるよう、一生懸命に町政発展のため努力をいたす決意であります。

これからの町政運営にあたっては、平成21年度に策定されました。八重瀬町新総合計画を尊重し、八重瀬町の将来像「大地の活力とうまunchゅの魂が創り出す自然共生の清らまち」の実現に向け、新総合計画で示された7つの基本方針を踏まえ、町民が自信と誇り

を持ち、生き生きと暮らすことのできる八重瀬町づくりに全力で取り組むとともに、町民が住んで良かったと心から思えるまちの実現を目指し、ひとつひとつ着実に諸施策を進めてまいります。

特に、具志頭小学校及び白川小学校の校舎建設や高齢者への激励金等につきましてもいち早く実施致し、児童生徒の教育環境の改善、高齢者のゆとりある生活の実現に向けて誠心誠意頑張っていく所存でございます。

さて、わが国は戦後50年続いた自民党から民主党へ政権交代がなされました。その政策も税金の無駄遣いから国民生活を重視する政治へと大きく変わるうとしております。

しかし、平成18年にアメリカで発生したリーマンショック（金融危機）から端を発した世界経済の大不況により、日本でも大企業、中小企業の倒産、リストラ、など経済不況から抜け出せ

ない状況が続いております。

地方自治体も、地方分権が進展するなか、自治体としての自立の能力が大きく問われると共に、国の危機的な財政状況を背景とした三位一体の改革等により、地方自治体は財政構造の変革を強く求められる時代となっております。

私達、八重瀬町も合併して5年目に入り、農業、漁業、商業、教育、福祉など行政課題が山積しております。その問題解決のため町民はじめ議員の皆様方のご理解、ご協力を賜りながら一つ一つ克服し八重瀬町の発展、町民生活の安定のため更なる行財政基盤を確立していきたいと思っております。

### 予算編成について

平成22年度も厳しい財政状況の中、様々な課題に対応しつつ更なる発展に向けたまちづくりを進める重要な年度であります。

平成20年度普通会計決算値において経常収支比率は94・6%（0・4%増、公債比率15・7%（0・7%減）、実質公債比率12・5%（0・5%減）、

となっており、税等の徴収率は県平均を下回っており、また、地方債残高は140億6千3百76万9千円で、県内の町村では一番高い数値となっており、将来に負担を残すこととなります。

また、本町の基金の残高は14億5千2百89万1千円で極めて脆弱な財政基盤となっております。

新町が誕生して5年目を向かえ、八重瀬町第一次総合計画の将来像であります「大地の活力とうまunchゅの魂が創り出す、自然共生の清らまち」の実現に向けて新しい町づくりは着実に進んでおります。

区画整理事業や国道507号の進捗に伴い、整然とした活気あふれる街並が形成され、人口も増加し新たな八重瀬町の賑わいの場となりつつあります。これからも引き続き新たな町づくりを推進いたします。

教育関連においては具志頭小学校と白川小学校の校舎建設、具志頭小学校のプール建設、東風平幼稚園の園舎建設、平成22年度全国高等学校総合体育大会、福祉関連ではこども手当、高齢者への激励金、環境面では漁業集落排水事業の施策を重点的に講じております。

また、情報の高度化に伴い、住民ニーズも多様化しており、社会情勢の変化に的確に対応することが求められ、さらに地方分権の推進による地方の自由度が高まるなか、自己決定責任が求められる、施策の優先度を明確に

し、事務事業の見直しを積極的に推進する必要があります。

歳入については、区画整理事業の進捗により固定資産税の課税額は増加しているものの、世界的な経済不況等を受け、個人住民税・法人住民税及び健康志向と増税によるたばこ消費の落ち込みで町税全体の減収が予測されます。今年度は職員を県税事務所等へ研修派遣し、徴税技能の向上に努め、より一層の徴収強化に取り組んで参ります。

歳出については経常経費の削減を一層推進し、旅費、需用費、食料費、役務費などの事務費は厳しく査定し減額を行ったところであります。

投資的経費については、持続可能な行財政運営を図るために実施年度の検討を行い、事業実施にあつては早急にすべきか否かを見極め優先度の高い事業に重点的に予算配分しております。

平成22年度の各会計の予算規模については、一般会計10,704,997千円、国民健康保険特別会計3,017,678千円、老人健康保健特別会計1,824千円、後期高齢者特別会計152,403千円、農漁業集落排水事業特別会計84,995千円、土地区画整理事業937,928千円となっております。各会計の予算を合計致しますと14,899,825千円となっております。

それでは主な施策についてその概要をご説明いたします。

### 1 産業の振興による魅力と活力あるまちづくり

「活気とつながりのある豊かなまち」

を創るには、地域の産業が充実していることが重要であります。八重瀬町は特に農業が盛んで、基幹作物であるサトウキビを中心にピーマン、オクラ、小菊、マンゴー、紅イモ等、彩り鮮やかな作物が数多く生産されております。また、今後の八重瀬町の産業発展を期すためには、農業、水産業、商工業の振興を積極的に推進し、観光産業面などとの連携を強化しながら、都市近郊に位置する本町の優位性を活かした体験・滞在、交流型観光の構築や、本町の特産品の創出など、各産業の活性化に努め、「魅力と活力あるまちづくり」を推進してまいります。

まず、農業につきましては、優良農用地の保全、確保に努め農業基盤整備を推進すると共に農作業の効率化、担い手の育成、確保、農地の集積利用を図り、農業経営の安定と生産性の向上に努め、消費者に直結した地産地消を推進してまいります。

なかでも、サトウキビにつきましては、新たな経営安定対策事業等に伴う新制度が今年度から施行され、さらなる推進を図ると共にサトウキビ生産組織強化と、優良品種の奨励、基幹作業、土づくり等を推進してまいります。

又、機械化一貫作業体系無脱葉出荷を奨励して生産コストの低減を推進すると共に生産の維持増進を図ります。園芸事業につきましては、甘蔗、小菊、ピーマンが拠点産地に認定され順調に生産拡大を図っております。今後は、インゲン、オクラについても拠点産地の認定に向けて取り組み、町農業の発展につくしてまいります。又、環境に配慮した安全・安心な農業を推進

してまいります。認定農業者94戸、エコファーマー認定者も70数名あり、今後さらなる認定農業者、エコファーマーの確保及び育成に努めていきます。

果樹においては、平成20年度に沖縄県経営構造対策事業にて地区認定を受け、22年度のハウス導入（果樹温室）に向け、受益農家の新規就農者や、就農者に対し講習会等を実施してまいります。

畜産業につきましては、畜産担い手育成総合整備の実施により、草地改良造成、牛舎等施設整備が整い、肉用牛の生産が安定してまいりました。今後は今年度完成予定の南部家畜市場移転整備に向けて事業推進してまいります。

また、家畜排せつ物の有効活用技術を確認すると共に、家畜排せつ物の農地還元を基本に環境と調和した資源循環型の農業を促進致します。

水産業につきましては、21年度で導入した中層浮漁礁を最大限に生かした漁場の基盤整備を図ると共に、後継者や担い手の確保、育成を図り水産業の





活性化を推進していきます。  
商工業につきましては、八重瀬町の自然環境や自然の動植物等といった地域資源を後世に引き継げるよう保全策を推進しながら、自然滞在型のエコツーリズムの可能性を模索します。また、現在やえせ桜まつりが町内外から観光スポットとして評価を受けており、年々見物客数が増加傾向にありま

す。それらを踏まえ、今後もさくらの植栽等の八重瀬城周辺整備を図り観光地として定着できるよう更なる推進を図っていきます。  
農村基盤の整備については、農山村活性化プロジェクト支援交付金、むらづくり交付金事業、団体営ため池等整備事業による農村環境の改善事業の実施を推進し、生産基盤については農業の生産性の向上、効率的、安定的な農業経営確立等を促進するため、排水対策や勾配修正、耕土流失防止等土地基盤の整備と県営事業による圃場整備、畑地かんがい施設整備、農道整備、水質保全対策事業（耕土流失防止型）を実施し、地域の環境基盤、生産基盤の整備を図ります。維持管理については、農地・水・環境保全向上対策支援交付金も活用していきます。

## 2 調和のとれた安全、安心なまちづくり

町民が求める住みよいまちとは、安全で安心して暮らせる基本的な生活基盤とともに、自然環境が整っていることが条件といえます。

八重瀬町は県都那覇市に近い位置にあり、住宅団地や区画整理事業などに

よって、市街地が整備されている地域もあり、また、田園風景が広がるなかにフクギ並木や屋敷林及び石垣に囲まれた、昔の面影を残す集落も存在しています。このように、市街地としての顔や穏やかな集落空間を併せ持つことは八重瀬町の特色であり、これらが共に魅力ある地域として、生活環境のみならず自然環境が整った「調和のとれた安全、安心なまちづくり」を推進します。

道路につきましては、広域幹線道路である国道507号・国道331号の早期整備を引き続き促進し、住民の安全確保に努めて参ります。  
また県道131号線については座喜味交差点までの整備と県道52号線の早期整備を促進し、地域住民の交通安全の確保と交通の利便性を高める生活道路整備を引き続き推進して参ります。

主な町道整備といたしましては、地域活性化事業による町道東風平4号線等の整備工事と維持改修を実施いたします。また、町が管理する道路橋の老朽化に対応するため、橋梁台帳を作成し、長寿命化修繕計画による地域の道路網の安全性・信頼性を確保することに努めてまいります。

土地区画整理事業は無秩序な開発を防ぎ、良好な環境市街地を形成するため、土地の区画形成を整え、道路や公園などの公共施設を整備改善し、宅地の利用増進を図ります。また、伊覇、屋宜原地区内の国道507号の完成に伴い、本区域を本町の中心市街地の形成拠点として早急に整備する必要があるります。

伊覇地区土地区画整理事業につきましては、平成17年12月に全域の仮換地

## 3 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり

調査にあたっては、町民の協力を得てより正確に調査し、統計調査結果を報告したいと思ひます。

自然環境を守っていくためには、行政が取り組むべきこと、町民が取り組むべきことをそれぞれ認識し「自然と人とが共生する環境にやさしいまちづくり」を推進します。

地球温暖化等地球規模の環境問題は、国民レベルでの地球環境対策が求められています。これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄の生活ライフスタイルを見直す資源循環型社会の形成を推進し、八重瀬町役場地球温暖化対策実行計画書に基づき庁舎内及び公共施設の省エネルギーの推進に取り組

指定が行われ、平成21年度区画整理区域内の国道507号の道路拡張工事と都市下水路事業が完成し、工事が完了した宅地には琉銀東風平支店、金秀スーパー、ケンタッキー、すき家等がオープンし、アパート等の建築も進み新しい住宅環境が形成されつつあります。

本年度も区画整理事業においては道路築造工事、宅地造成工事、物件補償などを引き続き推進いたします。

屋宜原土地区画整理事業につきましては、幹線、区画道路の整備、宅地造成整備が完了した国道507号沿い及び宅地にはマックスバリュや県営住宅及び個人住宅、アパートなどが数多く建設され新しい住宅環境が形成されており、本年度は幹線道路の工事完了を予定しております。

富盛土地区画整理事業につきましては、地区面積の約98%の工事が完了しておりますので、今年度は造成、擁壁工事を行い全ての工事完了を予定しております。

都市公園事業については、東風平運動公園のテニスコート北側広場の歩道設置及び転落防止柵、照明灯の設置、西部プラザ公園の遊歩道等の整備、長田門原公園については、公園外周擁壁、転落防止柵設置などを実施致します。

都市計画につきましては、第一次八重瀬町総合計画を遵守し引き続き八重瀬町都市計画マスタープラン等の策定に努めると共に、伊覇土地区画整理地区内の商業業務拠点地区に位置づけさ

生活環境の保全及び健康で快適な生活を確保するために、事業所や家庭から排出されるゴミの適正な分別、保管、収集、再生等の処理を行い、八重瀬町一般廃棄物処理基本計画に基づくゴミの減量化を図ります。又、本年度より島尻消防清掃組合に対する衛生関係の負担金が、住民の努力しだいで負担金に反映できる「全額ゴミの搬入量実績」に基づいての算定になるため、更なる買ひ物用マイバックの推進と各家庭から出る生ゴミの堆肥化を奨励し、ゴミ減量化の推進に努めていきます。

その他の環境保全対策については、不法投棄・散乱ごみ監視等事業を実施し悪質な不法投棄の改善対策を図ります。河川の水質浄化、事業所から排出される悪臭等の公害対策、狂犬病予防注射実施率の向上、ボウフラ駆除等の対応策に努めます。

騒音及び悪臭については、地域に密着した生活環境保全に著しく影響することから悪質なもののへの行政処分の強化を図ってまいります。

墓地政策では、八重瀬町墓地基本計画書を基に、墓地に対する意識と認識を高め、今後の事務移譲に向けて条例、規則の制定を検討してまいります。

## 4 結いの心で支え合うふれあいのまちづくり

高齢者の皆様は、地域の歴史などを知る貴重な人材であり、本町のまちづくりにおいて欠かすことが出来ない存在となっております。

また、子どもから高齢者まで、本町に暮らす人々が健康で暮らしていくこ

れているタウンセンターゾーンの土地利用計画、まちづくり事業計画及び用途地域、地区計画策定などを実施して参ります。

下水道事業は、町民の皆さんの快適な住環境の整備と共に水質保全に欠かすことの出来ない重要な生活基盤事業であります。平成15年より着手しました農業集落排水事業は平成22年度から供用開始され良好な環境維持が期待されるところであります。又、漁業集落排水事業も早期供用開始に向け積極的に進めてまいります。八重瀬町下水道構想につきましても、重要な課題であり沖縄県下水道基本計画との整合性を図りながら引き続き進めてまいります。

河川及び排水整備につきましては、県管理である2級河川の饒波川において、氾濫の原因となっていた溝原橋の改修と拡張整備が進められております。また、報得川におきましては治水安全度1/30での早期整備要請を引き続き行って参ります。

次に町民の生命・財産を自然災害や人為的災害から守るために防災対策として、消防・防災組織体制の強化や災

とは、活力あるまちづくりにつながるものと考えます。  
地域活性化のため、先ず町民相互、地域間、議会、役場など八重瀬町全体が手を取り合って、「結いの心で支え合うふれあいのまちづくり」を推進します。

わが国の医療保険制度は、国民皆保険制度として世界に類をみない制度となっており、社会保険や共済組合等の保険に加入してない方々は、全て国民健康保険に加入しなければならぬことになっております。

国民健康保険事業につきましては、医療費抑制、赤字解消が最大の重要課題であり、特定健診、保健指導、各種がん検診事業の受診率を向上させ、健康づくり推進員の協力を得て予防医療を実施し、医療費の抑制及び適正化に努めていきます。

また、保険税の収納につきましては、は、嘱託徴収員と担当者が連携を図り、夜間戸別訪問を強化し、滞納世帯の分析を行い自主財源確保のため、収納率向上を推進していきます。

後期高齢者医療につきましては、高齢者の方々が安心して医療が受けられるように、沖縄県後期高齢者医療広域連合及び関係機関との連携を充実してまいります。また、昨年度に引き続き特定健診・保健指導を行い高齢者の方々の健康維持・増進に努めていきます。

保健事業につきましては、町内の疾病分類状況を見ると、1番目に循環器系、2番目に消化器系、3番目に呼吸器系が多く、このような病気は生活習慣の悪化から発生しており、今後とも町民が安心して健康づくりができ







るように、内臓脂肪型肥満（メタボリックシンドローム）に着目し、特定健診・保健指導及び二次健診を強力に推進するとともに、大腸がん、胃がん、肺がん、婦人がん、結核検診も併せて実施し、重症化する以前に予防医療に努めていきます。

また、町内医療機関との連携を図り、生活習慣病改善のための講演会等も実施していきます。

福祉事業につきましては、国の地方分権や三位一体改革による補助金の廃止により財源移譲される事業が増え、中、多種多様化する福祉ニーズに対応するためにも、今後とも社会福祉協議会、民生・児童委員、赤十字奉仕団等各関係団体との連携を蜜にし、厳しい財政状況下においても町民への心のこもった福祉向上を図っていききたいと思います。

平成21年度に引き続き、平成22年度も次世代育成事業・高齢者自立支援、障害者自立支援をはじめ町民福祉のニーズにあった施策等を展開し、平等・健康で生きがいの持てる安心して暮らせる福祉の町づくりに鋭意努力致します。

します。

老人福祉につきましては、高齢者が住みなれた地域で自立・安心して暮らしていけるような町づくりを推進し、施設・在宅福祉サービスの実施を図るとともに、多様化する高齢者のニーズに応えるため、健康と生きがい施策を実施してまいります。

特に介護保険関連については、地域支援事業をより充実させ、介護予防事業・包括的支援事業・生活機能評価受診等を的確に実施し、生きがい・グループ支援事業等を充実させることにより、要介護状態に陥らないように支援していきます。

また、マニフェストに掲げてきた高齢者に感謝の気持ちを捧げ、更なる長寿を祈願するため、80歳以上の高齢者に敬老激励金を交付してまいります。町敬老会の開催については、高齢者の方々へ敬老の意を表し、長寿を祝う行事であることから、限定参加を止め、高齢者が等しく参加できるように東風平地区、具志頭地区において開催したいと思えます。また、平成22年度においても、これまで実施してきた生きがい活動支援事業・配食サービス・訪問型介護予防事業・介護用品支援事業を継続し高齢者のニーズに添えていきたいと思えます。

障がい者福祉については、障害のある方、ない方が共に生活し活動する社会を目指し、自ら歩む自立へのみち、地域でつなぐ「ふれあいの町」を目指して、利用者のニーズに対応できるように関係機関の協力を得ながら、障害者の福祉サービスの周知と充実を図ります。

など、健全な学校給食の運営に努め安心安全な給食を提供いたします。

また、幼稚園・小中学校の連携を通じた食に関する推進を図ってまいります。

本町の社会教育の基本方針は、「心身とも健康で調和のとれた町民像を目指し、学校教育及び家庭教育との連携・調和を図りながら生涯教育の観点に立つて行政を進める」ということであります。

近年、情報化社会、国際化社会といわれるように急激に社会情勢が変化し多様化して参りました。そういう激変する社会に的確に対応するためには、乳幼児から高齢者まで生涯を通して「いつでも、どこでも、だれでも」学習できる機会を数多く提供し、生きがいづくりと地域連帯感の醸成を図るとともに、個人個人の個性や能力を最大限に活かすことが重要になっていきます。

そのため、公民館事業として住民からのニーズの高い講座・教室を開設するとともに、公民館サークル活動を推進し、日常生活に潤いや生きがいを見つけ「住みよい心豊かなまちづくり」の一端を担うこととしています。

また、本町の明日の担い手である人材を育成することも重要であります。特に、学校週5日制になり、家庭・地域での子ども達の日常生活や活動が重要視されていることから、子ども会活動の充実発展や青少年健全育成協議会の組織並びに事業の充実強化を考えているところです。

さらに、子ども達が他府県の子とも達との交流を通して、本町とは異なった文化や慣習に触れたり、全く違う自

ていきます。

特に、障がいのある方への福祉サービス事業（居宅介護・行動援護・生活介護・児童デイサービス・施設入所支援・自立訓練・共同生活援助など）そして地域生活支援事業（相談支援事業・地域活動支援事業（相談支援事業・地域活動支援センター・日常生活用具給付・移動支援事業・更正訓練費などの事業を充実させ、地域における障がいのある方の生活のある方を支える様々な事業の推進を図っていききたいと思えます。

また、重度心身障害者医療費助成事業、補装具給付事業・更正医療給付事業等を実施し、今後とも障がいのある方が地域社会の一人として、ともに暮らし、一人ひとりの個性と可能性を生かしていく社会参加の拡大、ともに支えあう町づくりに努めてまいります。

児童福祉については、次世代を担う子どもが健やかに生まれ、育つのは、町民すべての願いであります。このたびの合併前の旧具志頭村、旧東風平町の「次世代育成支援行動計画（前期計画）」を平成21年度に見直し、平成22年度を初年度とする「八重瀬町次世代育成支援行動計画（後期計画）」が策定されます。その計画に基づき、各種子育て支援事業に取り組んでまいります。町立保育所、法人保育園では通常保育をはじめ、障害児保育等、保護者のニーズに応じた保育サービスの充実を図ってまいります。

本年度は、地域の人材を活用し、子育て支援を担う「ファミリーサポートセンター事業」の実施に取り組んでまいります。

然環境を体験することなどにより見聞を広めることも重要であることから、引き続き青少年少女育成事業を推進していききたいと考えています。

保健体育関連事業については、心身両面の健康保持増進を基本方針に掲げ、町民が身近な地域においてスポーツに気軽に親しみ、更にスポーツを通して体力づくり、健康づくりは勿論のこと、スポーツ仲間との交流を通して「心の健康」を増進させることも大切であります。

そのため、小中学生の体力増進については、学校の教育方針との連携を図りながら、小中学生への体育施設の優先的な利用（無料）を実施しています。また、数多い体育施設の有効活用や町民が快適に利用できるための施設の充実に努めるとともに、スポーツ教室やスポーツ大会、健康教室等の開設をはじめ、スポーツサークル活動の育成等には、特に力を入れていきたいと考えています。

さらに、町体育協会との連携を図りながら多くの大会を実施し、町民が競技に参加する喜びとともに大会を通じた健康づくりの推進と町民相互の交流による「ふれあいのまちまちづくり」をめざすこととします。

また、今年度は、全国高等学校総合体育大会沖縄大会の開催に伴い、本町においてもウエイトリフティング競技とハンドボール競技の会場となることから、会場となる体育施設の整備についても充実させるとともに、大会受け入れのための体制も町民一体となった取り組みを進め、是非、大会を成功裡に盛り上げていきたいと考えています。

子育て支援センターについては、保護者ニーズにあった利用しやすい居場所づくりに努めてまいります。

認可外保育施設については、「新すこやか保育事業」を継続して実施し支援してまいります。

児童虐待防止については、今年度から要保護児童の相談員を配置し、児童虐待の早期発見と未然防止に努めてまいります。

母子父子家庭については、母子父子家庭医療費助成を継続して実施し、体制の強化と制度の普及に努めます。

保育所民営化基本方針（第2次）に基づき、平成22年4月から八重瀬町立あずま保育所、中央保育所を社会福祉法人に移管します。法人立の保育園としてスタート致します。

母子保健事業については、母性並びに乳幼児の健康保持並びに増進に努めます。乳幼児健診は、引き続き実施し、身体障害や知的障害を含めた発達障害の早期発見に努めてまいります。

また、健診後の気になる児童の「親子教室」については、平成22年度も継続して開催し支援の充実を図ってまいります。

次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点から平成22年度より子ども手当が創設されます。中学校終了までの児童が対象となり、6月支給に向けて準備作業を進めてまいります。

## 5 夢と未来を拓く 心豊かなまちづくり

教育の充実について、「教育」とは、

文化財は、長い歴史の中で創られた民俗文化の遺産であることから、大切に保存するとともに歴史教育に活用することが必要であります。そのため、町内の貴重な埋蔵文化財を保存・保護するとともに歴史民俗資料館の展示等を充実させ、町民の歴史学習や学校教育の総合学習に大いに活用させたいと考えています。

また、貴重な港川人骨が発見された港川フィッシュャー遺跡については、港川人が生きていた時代を探る貴重な手がかりとなることから大切に保存したいと考えています。

そのため、早期に文化財の指定を行い、それに続く県指定に向けての検討も重ねていきたいと考えています。さらに、本町の誇る偉人「謝花昇」先生の銅像については、昨年度に町中央公民館敷地内から東風平運動公園内への移設も終了したことから、今後はその移設場所の周知や顕彰事業の充実を図っていききたいと考えています。





また、「仲本稔」先生が勤労の喜びを詠った「汗水節」については、汗水節大会等を実施するなど町内外に広く啓発しているところでありますが、今後は「仲本稔」先生に関する資料が少ないことから、その資料収集にも力を入れていきたいと考えています。

町史編集事業につきましては、合併前の旧町村時代から取り組んでおり完結までには長い時間が必要となっております。今年度は、旧東風平町史の新聞編の発刊を計画しているところであり、今後とも早期完結を目指し、編集業務に力を注いでいきたいと考えています。

文化振興事業については、地域に根ざす伝統文化の保存・継承・発展を目的に各地域において伝統芸能団体（保存会）が組織され活発に活動が展開されています。その活動の支援や伝統の文化力を高めるとともに、文化を通じた地域世代間交流を充実させ伝統文化力を高めるとともに、文化を通じた地域世代間交流を充実させ伝統文化の後継者の育成に力を注ぎたいと思います。

また、文化事業においては、町文化協会と連携しながらその充実・発展を図って参ります。その成果は町内外からも高い評価を受けているところであり、今年度も更なる充実・発展を図るとともに、組織の強化を考えていきたいと思っています。

さらに、本町も太平洋戦争時に激戦地であったことから多くの尊い命が犠牲となりました。今年も恒久平和を希求する心を忘れないためにも平和事業を継続・実施し、町民とともに「平和で文化のかおるまちづくり」を推進し

ていきたいと考えています。

## 6 協働の心でつくる

### 町民が主役のまちづくり

地方分権一括法が制定され、地域のことは地域が考えていくことが、これまで以上に求められています。本町には33の行政区が存在し、それぞれの行政区において良好なコミュニケーションが形成されていますが、さらにより良いまちづくりを推進していくには、この行政区を基本としつつ、八重瀬町を構成する「町民、議会、役場」がそれぞれの役割をあらためて認識することが重要です。

本町を構成するすべての人々が地域への愛着をもって、それぞれの役割を補完しあいながら「協働の心でつくる町民が主役のまちづくり」を推進します。

協働のまちづくりについては、地方自治の主体は町民であることを再認識し、住民自治の原則にたった、町民が主役のまちづくりを推進します。

本町には33自治会があり、各自治会

では自治集会所を活動拠点とし、地域特性を活かした年中行事や老人会・婦人会・子ども会等の各種団体のコミュニケーション活動が活発に行われております。昨今、自治会の果たす役割はとても重要であることから、コミュニケーション・助成事業等を導入し、地域コミュニケーション活動の充実に役立てたいと思います。

## 7 健全な行財政基盤を確立する

### まちづくり

更なる行政改革の推進については、地方分権に伴い、町行政の執行にあたっては、自らの判断と責任で対処する「いわゆる自己責任・自己決定」などその役割を果たすことが求められています。

特に今後の少子・高齢化到来に伴う高齢者福祉や「健康づくり」のための保健・医療施策、大型事業の推進などの行政課題に適切に対応していくため財源の確保、事務事業の評価、人材育成や専門職員の確保など行財政基盤の充実・強化を図ることが求められています。

このような中、本町の財政構造は相変わらず地方交付税や国庫補助金に依存した脆弱な財政構造となっており、行政サービスの維持・向上に向け行政改革の取り組みが求められています。そのため本町は、「第1次八重瀬町行政改革大綱」を策定し、その指針に基づき具体的に実施するための集中改革プランにより計画的に行財政改革を進めて来ました。

特に、平成17年度から平成21年度の

## 副町長と教育長が決まりました

3月2日開催された町議会の臨時議会において前税務課長の福島正惟氏を副町長に、前社会教育課長の金城隆雄氏を町教育委員に充てる人事案を提出し賛成多数で可決されました。金城氏は3月3日に教育委員会の中で教育長に互

選されました。福島副町長は「職員のみなさまの協力を得ながら職員の融和を図り八重瀬町の発展のために努力したい」とあいさつ。金城教育長は「町長のマニフェストを柱に職員と一丸となって努力し、本町の教育発展のために全力を尽くしていきたい」と話しています。



金城 隆雄 教育長 福島 正惟 副町長

## 「八重瀬町こいのぼりの集い」開催のお知らせ！

毎年恒例のこいのぼり掲揚イベント、「八重瀬町こいのぼりの集い」が次のとおり開催されますのでお知らせします。

目的…未来を担う子ども達の健やかな成長を祈念するとともに祝う。また、参加者の交流や事業の実施を通して、町民の融和を図る。

日時…平成22年4月28日（水）午前9時30分から

※雨天の場合は中止します。

会場…みなとがわ公園（港川漁港内）

主催…町役場・町商工会青年部

共催…町青年連合会・町婦人会

後援…町商工会・スカイスポーツクラブサザン

ウイング・町社会福祉協議会・港川区・港川漁協・港川漁協青年部

### イベント内容（予定）

町内の保育園児を会場に招待し、巨大こいのぼりの掲揚やピエロのパルーンアートを楽しんだ後、参加者全員で風船を飛ばし、最後に子どもたちへのお菓子の配布を予定しています。



お問合わせは、企画財政課

TEL 998-2668 まで

### 八重瀬町（東風平地区）

No	自治会名	備品名
1	東風平	デジタル複合機
2	伊覇	液晶テレビ
3	上田原	デジタル複合機
4	屋宜原	パソコン・プリンターセット
5	富盛	デジタル複合機
6	世名城	屋根型テント
7	高良	パソコン・プリンターセット
8	志多伯	会議用テーブル
9	当銘	液晶テレビ
10	小城	会議用テーブル・椅子
11	宜次	パークゴルフセット
12	外間	会議用テーブル
13	友寄	会議用テーブル・椅子
14	第一団地	芝刈り機
15	白川ハイツ	芝刈り機
16	大倉ハイツ	液晶テレビ
17	屋宜原団地	パソコン・プリンターセット
18	県営外間団地	会議用テーブル・椅子
19	友寄東ハイツ	デジタル複合機
20	外間高層住宅	折りたたみ椅子
21	県営屋宜原団地	冷蔵庫

### 八重瀬町（具志頭地区）

No	自治会名	備品名
1	具志頭	カラオケセット
2	新城	会議用テーブル・椅子
3	後原	液晶テレビ
4	大頓	草刈機
5	玻名城	デジタル複合機
6	安里	デジタル複合機
7	与座	パソコン・プリンターセット
8	仲座	カラオケセット
9	港川	液晶テレビ
10	長毛	パソコン・プリンターセット
11	県営長毛団地	パソコン・プリンターセット
12	県営大頓団地	パソコン・プリンターセット



宝くじは  
豊かさ築く  
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

## 平成21年度一般コミュニティ助成事業

財団法人自治総合センターの平成21年度一般コミュニティ助成事業で、町内の各自治会へ次の備品が配布されました。この事業は、宝くじ収益の一部をコミュニティの健全な発達と宝くじの普及広報に役立てるために実施されるものです。

町民の皆さん、コミュニティ備品を大切にご利用ください！



「集中改革プラン」においては、組織機構の見直しを中心に事務事業の整理・廃止・統合・定員管理の適正化、人材育成の推進、民間委託の推進などに取組み、町民、議会、農委員会並びに各種団体等の協力により、それぞれ成果を挙げることができました。

引き続き、平成22年度におきましては新たに「第2次八重瀬町行政改革大綱」を策定し、更なる行財政改革を推進するとともにこれまで5年間取り組んできた内容を分析・検証し、平成22年度以降の行財政改革計画に反映させたいと思います。

以上のことから、八重瀬町新総合計画の基本方針に基づき行財政運営を図っていききたいと思います。

議員各位並びに町民の皆様の御理解と御協力を心からお願ひ申し上げ、平成22年度の施政方針とさせていただきます。